

# 超高速機に対する 海外エアラインのコメント

(財)日本航空機開発協会

平成18年12月21日

## 超高速機に対する海外エアライン調査(1/2)

### ➤調査の経緯・概要

- ✓毎年実施している海外エアライン調査の一部として、平成14年度より超高速機に対する調査を実施
- ✓超高速機概念設計結果を紹介し、エアラインからのコメントを入手
- ✓北米、欧州、アジア・太平洋の三地域のエアラインを訪問
- ✓その国を代表するエアラインから、低コストエアラインまで、広範囲に訪問
- ✓応対者は、企画や機材計画部門のディレクタ、マネージャクラス

### ➤調査の目的

- ✓将来の超高速機に対するエアラインの考え方を探り、国内作業計画に資する。

### ➤調査方法

- ✓超高速機の簡単な仕様を説明し、それに対するコメントを得る。

## 超高速機に対する海外エアライン調査(2/2)

### ▶エアラインからの主なコメント

- ✓高速性能は魅力がある。
- ✓ある程度のプレミアム料金を課す必要があるだろう。
- ✓運航路線は、各国のビジネス中心地間を結ぶルートが対象となる。
- ✓今後登場してくる経済性の良い亜音速機との競合で評価される。
- ✓ビジネス客が主流となるだろうが、その需要規模の予測は難しい。
- ✓ソニックブームなど解決すべき課題が多く、まだ将来の機体である。

(注):いずれのエアラインもまだ真剣にSSTを検討しているところはなく、これらのコメントは応対者の個人的意見である。